

宮坂よし子副議長のあいさつ

紹介いただきました狛江市議会副議長の宮坂良子でございます。多くの議員も参加させていただいております。お招きいただきありがとうございます。14回目を迎えた平和フェスタの開催、おめでとうございます。

今回のテーマは「平和な未来を子どもたちへ」ということです。実行委員会の方々の知恵と努力と何よりも平和への情熱で創られた素晴らしい内容です。多くの人々に感動を届け、平和を必ず未来へつないでいかなければと心を新たに決意する大事な機会となっています。私も毎年参加させていただいています。大きな感動と勇気ももらっています。本当にありがとうございます。

昨年7月、人類史上初めて核兵器を違法とし、核兵器の非人道性を激しく告発する核兵器禁止条約が国連で採択されるという画期的な年でありました。さらに、狛江市議会では昨年11月狛江市平和委員会の皆さんが提出されました「日本政府に核兵器禁止条約に調印することを求める意見書提出に関する陳情」が採択されました。そして12月に市議会として日本政府に意見書をあげることができました。この陳情が採択され意見書をあげることができたことは狛江市民の力が示されたと思います。そして、今、唯一の被爆国のこの日本、その日本政府が一日も早く核兵器禁止条約を署名、批准することを求めるものです。

私ごとですけれど、子どもが小学生の時、湾岸戦争が起こり、そのTVを観ていた娘が、震えながら「お母さんこわいよ！家に戦争来ないよね！」としがみついてきました。「お母さんは戦争なんかさせないよ。」と抱きしめながら話して、絶対に戦争はさせない、平和を守る、と心に誓った、その思いが、いまの私の原点ともなっています。そのためにも憲法九条をしっかりと守り、国内へ、世界へと平和を発信していきたいと新たに決意をしているところです。私たち狛江市には狛江市平和都市宣言があります。議会としても宣言にあるように憲法を守り、核兵器を廃絶、戦争のない世界を目指すために頑張ります。どうか皆さん、ご一緒に草の根の運動を広げて行こうではありませんか。ありがとうございました。

